

施策評価管理シート

施策体系	政策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	1	協働のまちづくり	担当部局(室)名	部局長名
	施策	4	情報共有の充実	秘書広報室	岩崎 壽久

1. 施策の基本方針 Plan

○ 市政に対する意見や評価などを広く聴き取り、改善につなげることで市政に対する信頼を得るようにします。
 ○ 正しく分かりやすい情報を市民に提供し、質の高い情報発信をすることで、市民のニーズに答えていきます。
 ○ 情報公開制度の充実を図るなど、行政情報の積極的な公開と提供を進めることにより、行政運営の透明性を高めます。

2. 現状と課題 Plan

○ 情報公開、個人情報保護制度を引き続き適正に運用していくことが重要です。
 ○ 広報なばりの紙面の充実やホームページを適正に管理運用していく必要があります。
 ○ 市民から積極的に意見を聴く場や機会を増やしていく必要があります。

○ 施策指標(目標)及び達成状況 Plan Do

施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	進捗率
現在の名張市の情報提供(広報なばり、ホームページなど)や広聴制度について満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	80.0	0.0%
	成果	71.2	74.7	65.6		
市ホームページへの1日平均アクセス件数(件/日)	目標	-	-	-	1,300	100.0%
	成果	1,100	1,762	1,950		
パブリックコメント1案件あたりの意見提出件数(件)	目標	-	-	-	20	0.0%
	成果	12	14	3		

3. 課題解決への取組内容(平成29年度) Plan Do

計画	実績及び主な成果
○ 情報公開、個人情報保護審査会を統合し事務の効率化を図るとともに、行政情報の積極的な公開と説明責任を果たしていきます。 ○ 広報紙面には総合計画の施策などを積極的に取り上げ、紙面を通じて市民と情報共有、対話を図り、市民と行政で協働のまちづくりを進めます。 ○ 市政情報は正しく、分かりやすく、適切な時期に速やかに発信していきます。 ○ 市民から積極的に意見、評価などを聴く場や機会を増やし、施策の充実や業務の改善につなげ、市民との信頼関係を図ります。	○ 情報公開、個人情報保護制度を適切に運用しました。 公文書公開請求件数 153件、個人情報開示請求件数 25件 ○ 広報なばりを月2回発行、市内各戸配布して、適切な時期に市民に情報発信を行うほか、市ホームページ、SNSなどを通じて情報発信を行い、広く市政情報の共有化を図りました。 ○ 市民への情報発信や対外PRならびに緊急な情報などは、新聞やテレビなどのマスメディアを積極的に活用しました。資料提供 931件 ○ 市民から意見を聴く機会として、市長のまちかどトーク 2件 90人、出前トーク 81回 3,142人、市長への手紙 127件、パブリックコメント 4項目 9件など受付しました。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

○ 公文書の作成や保管については適切な対応が求められているところです。同時に、求められる情報公開や個人情報保護制度を引き続き適正に運用していくことが重要です。
 ○ 広報なばりの紙面の充実を行い、ホームページは適正な管理運用と、必要な情報をすぐに確認できる見やすさが求められます。
 ○ 市民から積極的に意見を聴く機会を増やし、市民と行政の信頼関係を図る必要があります。

5. 課題解決への取組内容(平成30年度) Action

○ 行政情報である公文書を積極的に公開し、行政の透明化と説明責任を果たしていきます。
 ○ 広報紙面は全戸配布している点からも、少しでも市民が手に取り市政に関心を持っていただくような分かりやすく充実した内容にします。
 ○ ホームページは、適切な時期に必要な情報を得ることができるようにします。またスマートフォン利用者を意識した見やすさ、検索しやすさを重視します。
 ○ 市民から積極的に意見を聴く機会を増やしていきます。まちかどトークや出前トーク、市長への手紙のほか、広報紙面への意見(メールサポーター)やホームページへの意見なども担当室と共有しながら、施策の充実や業務の改善につなげ、市民との信頼関係を図ります。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

SNSなどの様々な媒体を活用した積極的な情報発信を行うとともに、必要な行政情報を市民に正しく分かりやすく提供できるように引き続き努めること。